

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-3-11	事務事業名 老人保健医療制度の運営	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
---------------	----------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 高齢者の健康保持や疾病の予防・早期発見等に取り組むことにより、福祉の向上と財政的な負担の軽減を図り、健全な運営に努める。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)社会保障制度の運営 (主要施策)老人保健医療の健全な運営
	実施内容、実施方法 各種医療保険加入者で、75歳以上の方(昭和7年9月30日以前に生まれた方は引続き対象)及び、65歳以上75歳未満で一定の障害があり、市町村長の認定を受けた方を対象とする老人保健法に基づく医療給付	根拠法令等 老人保健法
	事業開始時期 平成 14 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他(基金、国都市で負担)

評価指標の設定	活動指標名 受給者延べ人数	活動指標の考え方(定義) 財政的な負担の軽減
	成果指標名 医療費支給金額	成果指標の考え方(定義) 適切な医療費の確保

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		13,098,714	12,908,080	13,170,108	13,399,046	
	国庫支出金		2,613,227	2,725,877	3,088,808	3,456,352	
	都支出金	千円	653,307	681,469	772,202	864,088	
	地方債						
	その他		9,178,872	8,819,265	8,536,896	8,214,518	
	一般財源		653,308	681,469	772,202	864,088	
	所要人員(B)	人	7.00	7.00	7.00	7.00	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	57,722	57,911	58,296	58,296	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	13,156,436	12,965,991	13,228,404	13,457,342	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(受給者延べ人数)	千円	53	54	58		
	歳入	千円		13,013,356	13,082,073	13,512,458	
	活動指標	目標値	人			230,976	222,144
		実績値	人	246,366	239,253	229,945	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	千円			13,224,585	13,335,957	
	実績値	千円	13,027,303	12,822,467	13,096,907		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 6-3-11	事務事業名 老人保健医療制度の運営	所管部課 保健福祉部高齢福祉課
---------------	----------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	前年度と比較して医療費の支給額が増加しており、国庫負担金が法定負担分に対し過少交付となり、平成17年度予算より繰上充用を行った。今後、より一層の適切な医療費の確保が必要になる。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	急速な少子高齢化が進んでおり、今後もより一層の必要性が見込まれる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	適切な医療費を確保するためにも、重複・頻回受診者への訪問指導等が必要になってくると思われる。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	各種医療保険加入者で、75歳以上の方(昭和7年9月30日以前に生まれた方は引続き対象)及び、65歳以上75歳未満で一定の障害があり、市町村長の認定を受けた方を対象とする老人保健法に基づく医療給付であり、問題はないと思われる。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	急速な少子高齢化が進んでおり、今後もより一層の必要性が見込まれる。また、一係だけでは重複・頻回受診者等への訪問指導等には無理があるものと思われる。今後は老人医療制度の適用前の健康づくり等予防策が充用になってくると思われる。

17年度における改善点	適切な医療費を確保していくためにも、平成17年度については、平成17年10月診療分の柔道整復師に関する分の医療費通知の発送等を行う。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。